



出土品の展示

本校は、引きの山という山を削った所に建てられています。学校のある辺りはちょうど5～6世紀頃に造られた古墳であったことから、学校の敷地造成前の調査では13基の墳墓が発掘調査されました。出土品は市文化博物館に収蔵されています。

学校には、引きの山から出土したと思われる土器や円筒埴輪などを展示しています。これらは発掘調査されたときのものではなく、それ以前に子どもたちが見つけて学校に持ってきたものです。玄関と多目的ホールには、杯蓋、高坏、壺、円筒埴輪などが並べられています。その多くは須恵器で、土師器も一部見られます。

